

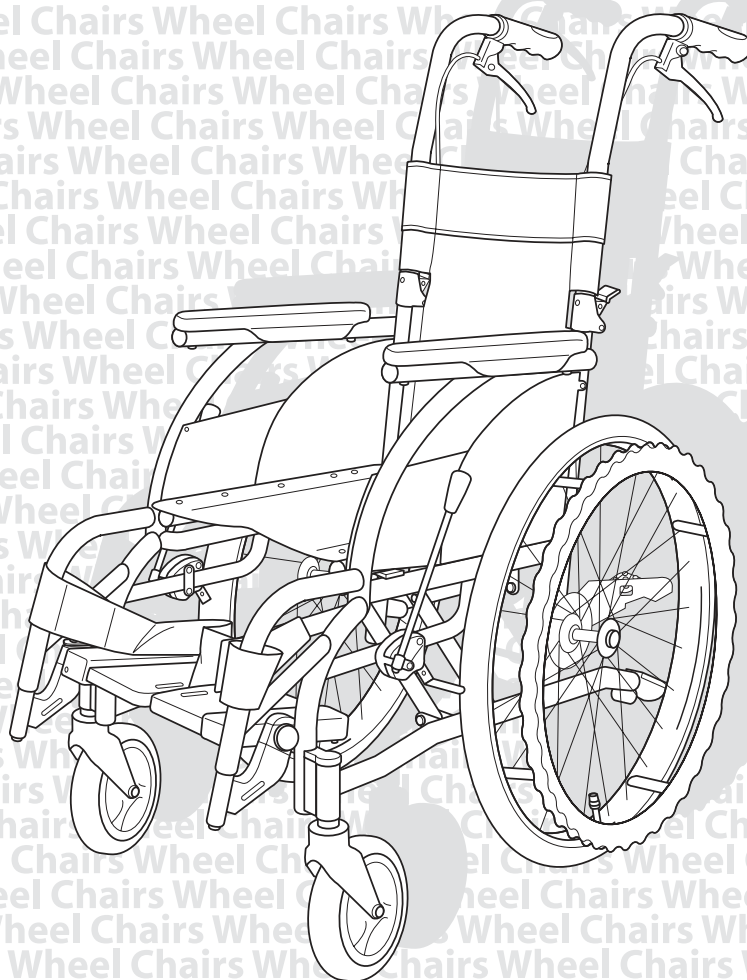
マツナガの子供用車いす

MKDシリーズ

取扱説明書

保存用

保証書付



MATSUNAGA

このたびは、(株)松永製作所製品の車いすをお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書には、お客様が安全に正しくご使用していただくために必要な注意事項や正しい使い方が説明されています。ご使用になる前には、必ずお読みください。

また、保証書が付いておりますので紛失しないように大切に保管してください。

車いすが、あなたの身体に合わない状態で乗らないでください。

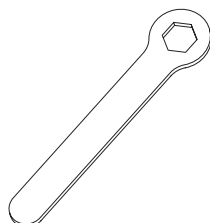
健康をそこなう恐れがあります。そのような場合は、購入されたお店、かかりつけの病院にご相談ください。

- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または、直接弊社までお問い合わせください。

付属品



取扱説明書



スパナ



六角レンチ(対辺5mm)

目次

安全にお使いになるためのご注意	2
機種別寸法・機種別機能一覧	4
各部の名称	4
安全にお使いになるための使用方法	5
ご使用の前に	5
ブレーキの使用方法	5
フットサポートの高さ(長さ)調節	6
アジャスタブルフットサポート(前後&角度調整)	6
広げ方・折りたたみ方	8
車いすの広げ方	8
車いすの折りたたみ方	9
使用方法	10
乗り方・降り方	10
動かし方	11
介助の仕方	12
その他の注意事項	14
車いすのオプション	15
安全ベルト	15
もしこんなトラブルが発生したときは	16
車いすのお手入れの方法	16
保管場所	17
保証書	17
車いす点検シート	

安全にお使いになるためのご注意



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることおよび物的損害の発生する可能性が想定されることを示しています。

お守りいただく内容の説明



この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



この表示は、必ずしていただく「**強制**」内容です。

警告

(禁止)



しては
いけない

- タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。
ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動いたりして、事故の原因となります。
また、タイヤのパンクの原因となります。
- フットサポートの上に乗って、乗り込んだり、降りるとき上に立ち上がらないでください。
車いすがバランスを崩し、転倒事故の原因となります。
- 車いすのシートの上で立ち上がらないでください。
転倒事故の原因となります。

(強制)



必ずして
いただく

- 車いすに乗る・降りる前や、ベッドへの移乗時には、必ずブレーキをロックしてください。
車いすが動き、転倒事故の原因となります。
- バックサポート折りたたみのロックピンが、「カチッ」と音がして、完全に出ているのを確認してください。
転倒事故の原因となります。
- 側溝の格子蓋や踏み切りなどでご使用される場合は、必ず介助者に支えていただいでください。
車輪が溝にはまって、転倒・転落事故の原因となります。

注意

(禁止)



しては
いけない

- 急ブレーキをかけないでください。
車いすに乗っている方が前方へ転倒する恐れがあります。
- バックサポートに重いものを引っ掛けないでください。
車いすが不安定になり、転倒事故の原因となります。
- 車いすを拡げる時に、座パイプの横や下に、手や指を入れないでください。
パイプに手や指を挟んでケガをします。
- タイヤを持って車いすを操作しないでください。
ブレーキに手があたり、ケガをする原因となります。
- スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。
摩擦で、手にケガをする恐れがあります。そのようなご使用をされる場合は、車いす用手袋〈オプション〉をご使用ください。
- 走行中、身体を乗り出さないでください。
バランスが不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。

- 車輪が回転しているときは、スポークに手や指を差し込まないでください。
手や指をはさんで、ケガをする原因となります。
- バックしながら急停止しないでください。
転倒事故の原因となります。
- 凹凸のある路面では、前かがみ姿勢で使用しないでください。
バランスを崩し、前に転倒して事故の原因となります。
- バックサポートパイプのみで、キャスト(前輪)を上げないでください。
バックサポートパイプが曲がったり、折れたりして、転倒して事故の原因となります。
- スピードをつけて、段差を乗り越えようとししないでください。
使用者が車いすから、転落して事故の原因となります。
- 使用者が車いすに乗っている状態でグリップを持って吊り上げないでください。
パイプが外れたりして、転倒・転落事故の原因となります。
- 車いすを、横向きに倒して上に物を置かないでください。
重みで車輪フレームが、曲がったりして故障の原因になります。
- 車いすで荷物を運んだりしないでください。
- 火気の近くに置かないでください。
タイヤがパンクしたり、シートが燃え火災の原因となります。

(強制)



必ずして
いただく

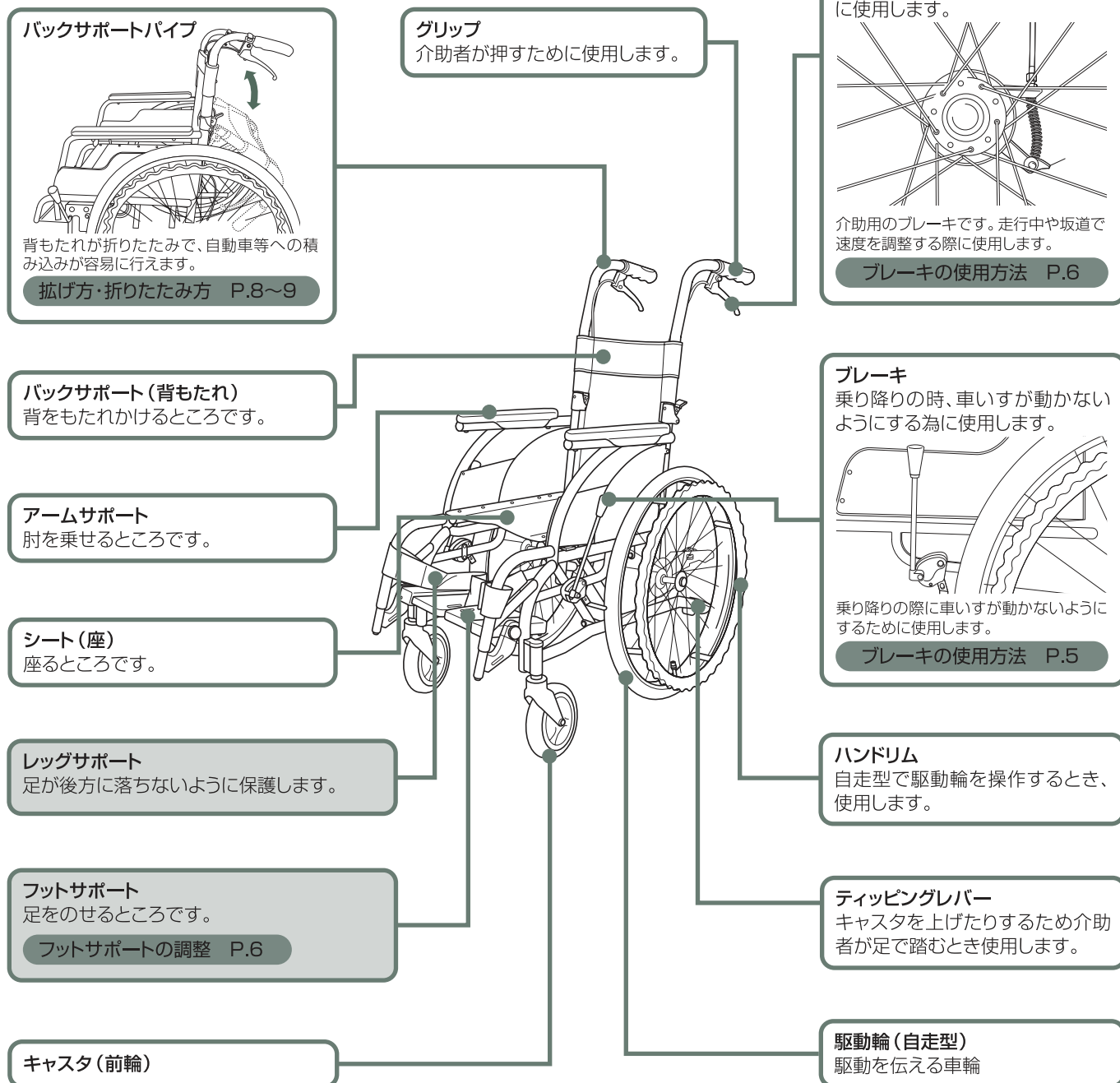
- 介助者の方は、キャリパーブレーキレバーを、両側同時にかけてください。
バランスを崩し、転倒事故の原因となります。
- フットサポートが固定されているか、必ず確認してから使用してください。
フットサポートの角度が急に変わったり、外れたりして、ケガをする恐れがあります。
- 車いすを上げた時、座パイプが受けに収まっているか、確認して座ってください。
パイプが曲がったりして、転落事故及び故障の原因になります。
- 車いすの乗り降りは、路面の平坦な場所で行ってください。
車いすが動いたりしてバランスを崩し、転倒・転落事故の原因となります。
- スロープを下るとき介助者は車いすを後ろ向きにし、ゆっくり確認しながら走行してください。
前向きで下ると、乗っている人がすり落ちたり、前のめりとなり、転倒事故の原因となります。
- 側溝の格子蓋、踏み切りのレール溝にキャストが落ち込まないように注意してください。
車いすが急に止まり使用者の体が前方に傾き、転落・転倒事故の原因となります。このような環境条件で
ご使用される場合は、ワイドキャスト(オプション)をご使用ください。
- 移動中、つま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。
- フットサポートに、足が乗っているか確認して走行してください。
- 必ず固定されている場所を持ってください。操作レバー、ブレーキなど持たないでください。
- 車いすを持ち上げたときに座面の水平を保ち、乗っている人の転落には十分注意してください。
- 安全ベルト装着機種は、必ずシートベルトを締めてください。
衝撃などで転落し事故の原因となります。
- マジック式安全ベルトは、糸くずや汚れを取り除いてご使用ください。
粘着力が弱くなり、衝撃を受けた時外れ、転落事故の原因となります。

機種別寸法・機種別機能一覧

機種	キャスト (インチ)	大車輪 (インチ)	前座高 (m/m)	後座高 (m/m)	座幅 (m/m)	全長 (m/m)	全高 (m/m)	全幅 (m/m)	折畳み幅 (m/m)	重量 (kg)	タイプ	バック サポート	ブレーキ	
													種類	機能
MKD-01S	5	18	375	355	280	815	875	495	340	12.6	自走	折りたたみ	ミニ	ドラム
MKD-01M	5	20	400	380	300	815	900	515	340	12.8	自走	折りたたみ	ミニ	ドラム
MKD-01L	6	22	425	405	320	835	925	535	340	13.4	自走	折りたたみ	ミニ	ドラム

各部の名称

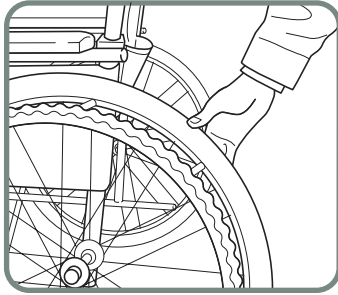
標準タイプ (自走・介助)



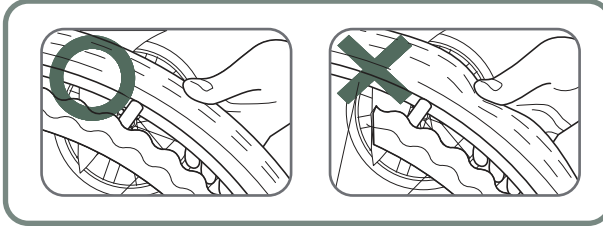
安全にお使いになるための使用方法

ご使用前に

- ご使用前に安全にご使用していただくため、次の確認をお願いします。
 - ・タイヤの摩耗・亀裂はないか。・タイヤの空気圧は適正か。
 - ・ブレーキに異常はないか。・ブレーキをロックした時、駆動輪・主輪が回転しないか。

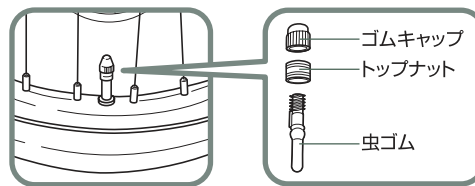


タイヤを親指で押し、容易にへこむ場合は、エアを自転車用空気入れで補充してください。



適正空気圧
●18・20・22インチ
760kPa
(7.6kgf/cm²)

タイヤの空気バルブの
トップナットが緩んで
いないか確認してください。



タイヤの空気がすぐに抜けるときは、
虫ゴムを交換してください。
(自転車と共通です。)

警告

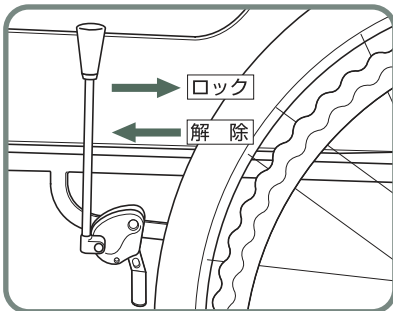
- タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。
(ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動いたりして、事故の原因となります。
また、タイヤのパンクの原因となります。)

してはいけない

ブレーキの使用方法

- ブレーキレバーを後方に引くとロックします。
- ロックした方向と反対に引くと解除します。

ミニタックル



警告

- タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。
(ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動いたりして、事故の原因となります。)

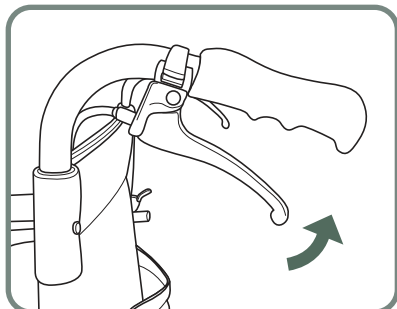
してはいけない

警告

- 車いすに乗る・降りる前や、ベッドへの移乗時には、必ずブレーキをロックしてください。
(車いすが動き、転倒事故の原因となります。)

していただく

ドラムブレーキ (キャリパーブレーキ)



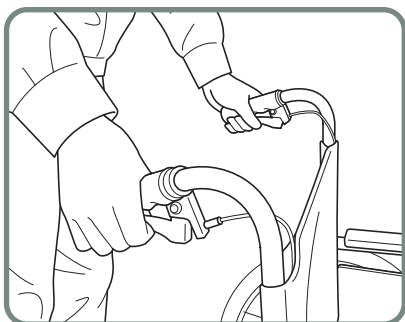
- レバーを握るとブレーキがかかります。
- レバーを離すと解除します。

⚠ 注意

- 急ブレーキをかけないでください。
(車いすに乗っている方が前方へ転倒する恐れがあります。)

してはいけない

介助者の方が走行中や下り坂での速度減速及び停止に、ご使用ください。



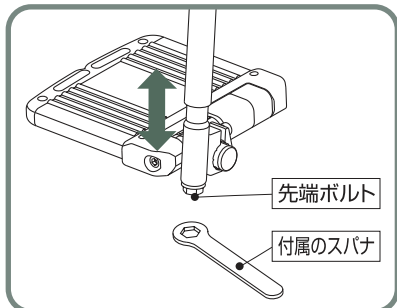
⚠ 注意

- 介助者の方は、キャリパーブレーキレバーを、
両側同時にかけてください。
(バランスを崩し、転倒事故の原因となります。)

していただく

フットサポートの高さ (長さ) 調整

フットサポートの先端ボルトを付属のスパナで少し動くところまで緩める。



高さを調整し、先端ボルトを締める。

※適正トルク
20Nm

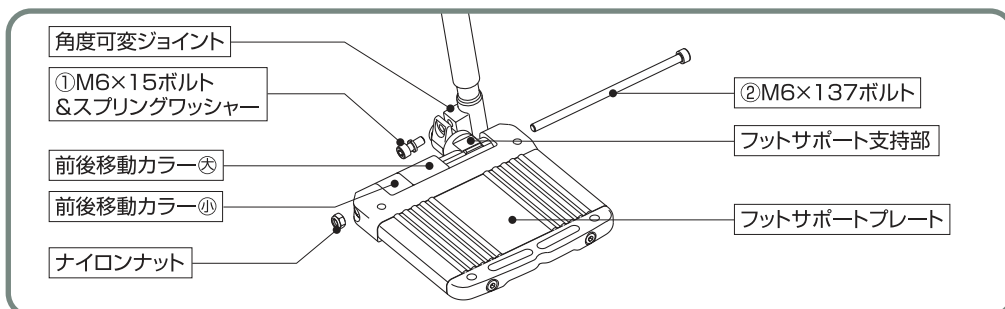
⚠ 注意

- フットサポートが固定されているか、必ず確認してから使用してください。
(フットサポートが脱落し、事故、ケガの原因になります。)

していただく

アジャスタブルフットサポート (前後&角度調整)

各部名称



※適正トルク

- ①M6×15…10Nm
- ②M6×137…6Nm

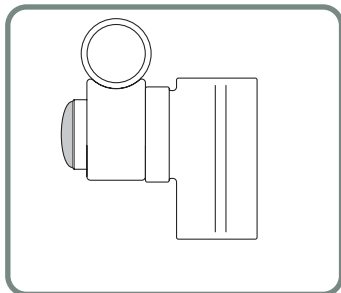
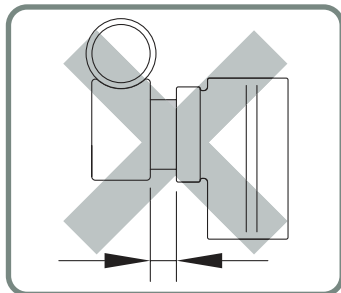
角度調整方法

①M6×15をゆるめます。(取り外す必要はありません)

※このときスプリングワッシャーを無くさないようにしてください。

フットサポートプレートをしっかりと持ち、最適な位置へ角度を変更してください。

※このときフットサポート支持部と角度可変ジョイントの間にすき間がないようにしてください。



⚠ 注意

- すき間がある状態で使用するとフットサポートが外れケガをすることがあります。

してはいけません

位置が決まったら、①M6×15を締め、フットサポートが動かないか確認してください。

⚠ 注意

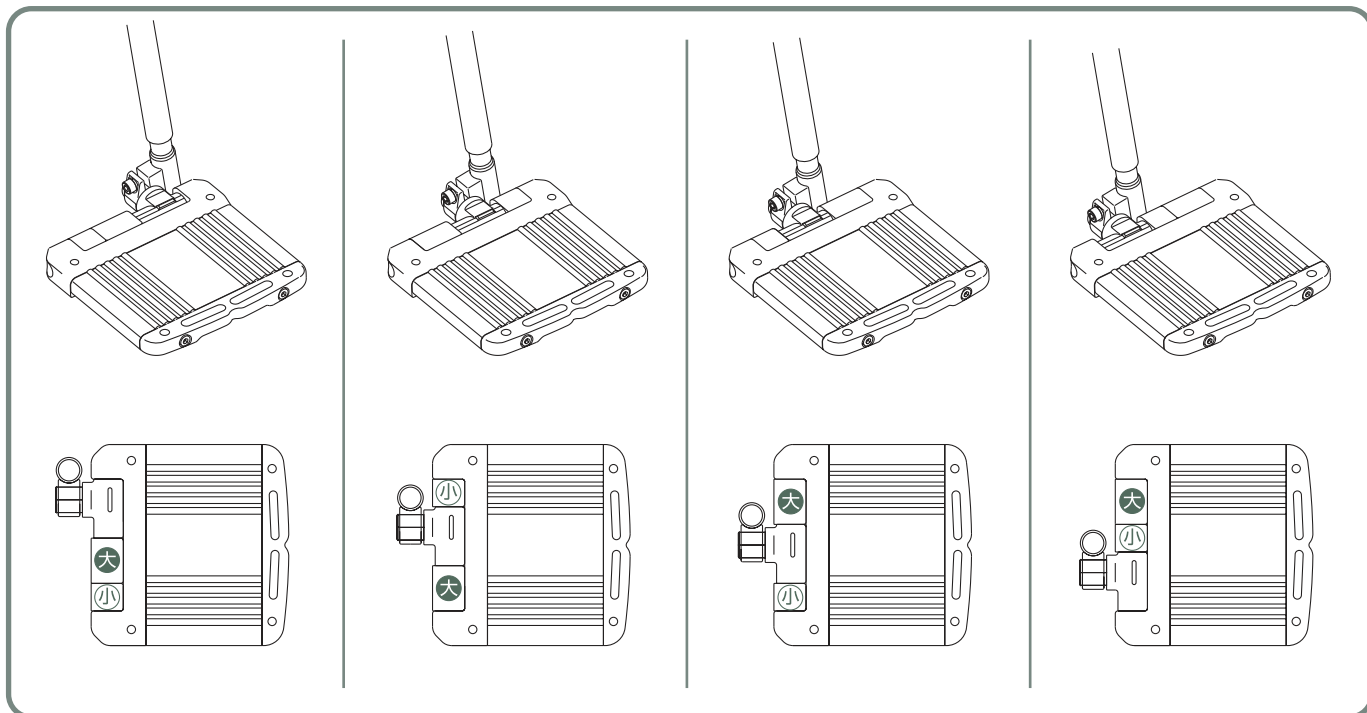
- ①のボルトは必ず締めてください。フットサポートが急に角度が変わったり、外れたりして、ケガをする恐れがあります。

していただく

前後調整方法

②M6×137を取り外します。(このときナイロンナットを無くさないようにしてください)

下図のように前後移動カラー大、小を入れかえることで前後の調整が可能です。



位置が決まったら、②M6×137のボルトを締めてください。

⚠ 注意

- ②M6×137のボルトは必ず締めてください。(フットサポートが外れ、ケガをする恐れがあります。)

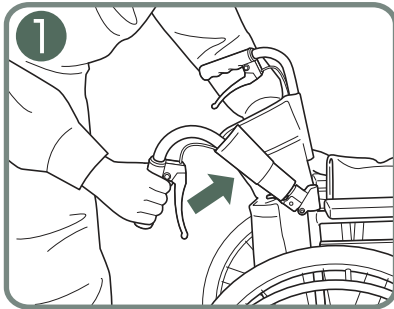
していただく

拡げ方・折りたたみ方

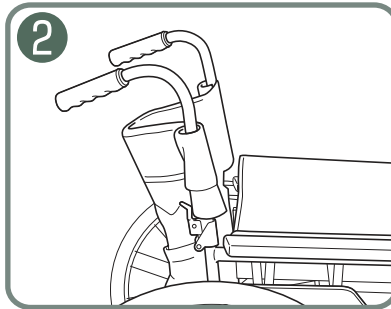
車いすの拡げ方

バックサポートの折りたたみを起こす時は、車いすを折りたたんだ状態で行ってください。
(拡げた状態で行うと、背シートにバックサポートパイプが引っ張られ、ロック出来なくなります。)

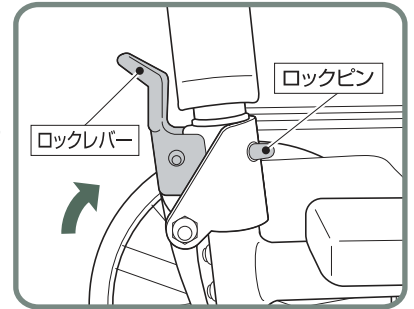
① グリップを持ち、矢印方向に、持ち上げる。



② バックサポートを両側起こす。



レバーを矢印方向に起こす。



警告

●バックサポート折りたたみのロックピンが、「カチッ」と音がして、完全に出ているのを確認してください。(転倒事故の原因となります。)

していただく

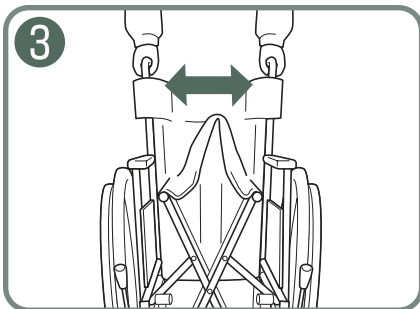


注意

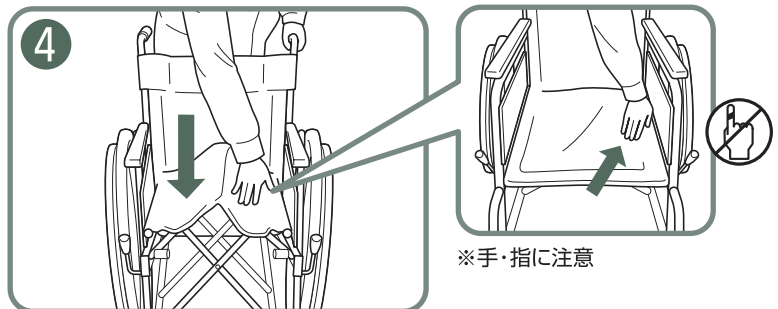
●バックサポートに重いものを引っ掛けしないでください。
(車いすが不安定になり、転倒事故の原因となります。)

してはいけない

③ 車いすの後方に立ち、左右のグリップを持って両側に拡げます。



④ 片側のグリップを手で持ち、シートを手で下に押し下げると、シートが拡がります。



注意

●車いすを拡げる時に、座パイプの横や下に、手や指を入れないでください。
(パイプに手や指を挟んでケガをします。)

してはいけない



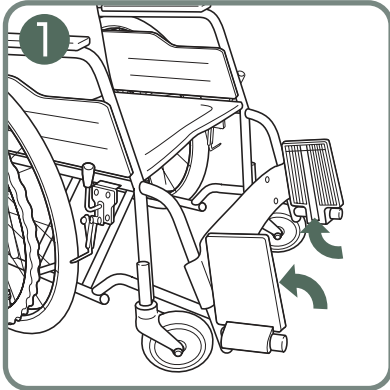
注意

●車いすを拡げた時、座パイプが受けに収まっているか、確認して座ってください。
(パイプが曲がったりして、転落事故及び故障の原因になります。)

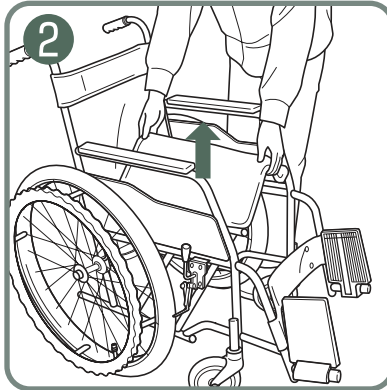
していただく

車いすの折りたたみ方

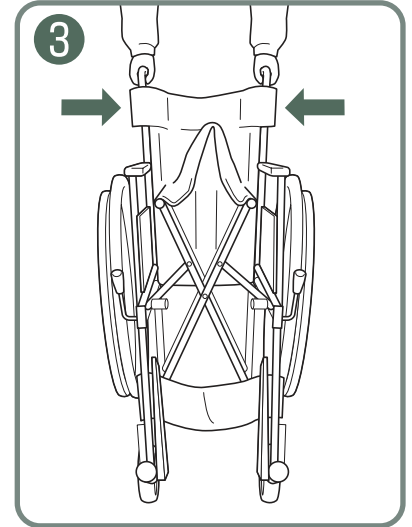
① フットサポートを矢印方向に回転させて上げる。



② シートの前方と後方の中央を同時に持ち上げる。

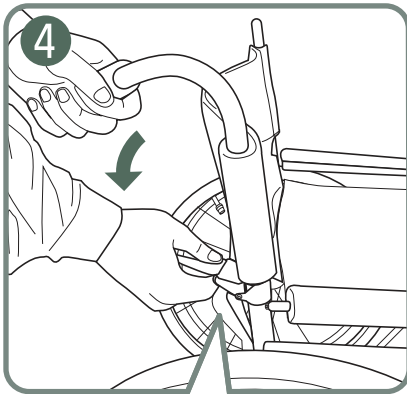


③ 左右のグリップを持ち内側にたたむ。

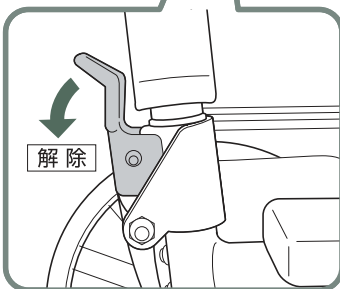
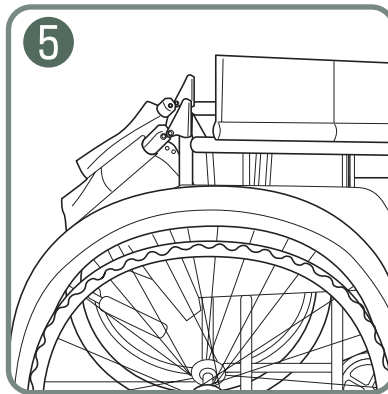


車のトランクに収納する場合などにはさらに小さく折りたたむことができます。

④ グリップを片手で持ち、レバーを後方に倒し、バックサポートを倒す。



⑤ バックサポートを両側後方に倒す。



使用方法

乗り方・降り方



警告

●車いすに乗る・降りる前や、ベッドへの移乗時には、必ずブレーキをロックしてください。
(車いすが動き、転倒事故の原因となります。)

していただく



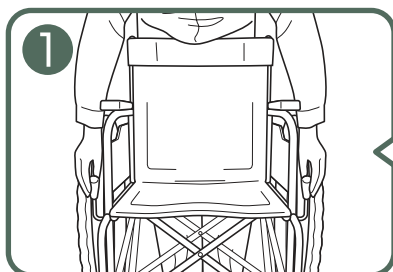
注意

●車いすの乗り降りは、路面の平坦な場所で行ってください。
(車いすが動いたりしてバランスを崩し、転倒・転落事故の原因となります。)

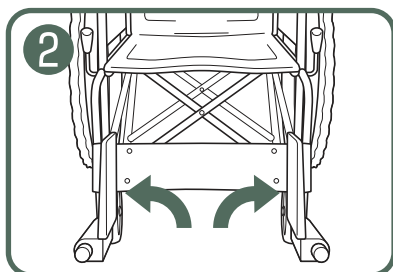
していただく

乗る時

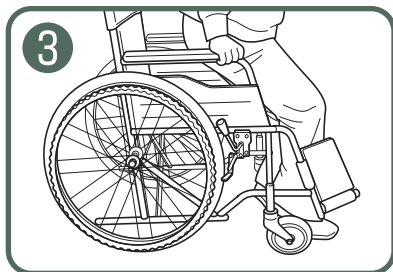
①ブレーキを両側ロックする。



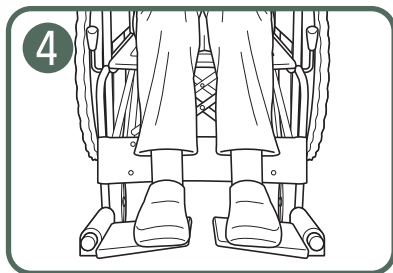
②フットサポートを両側上げる。



③両手でアームサポートを持ち
ゆっくり座り込む。

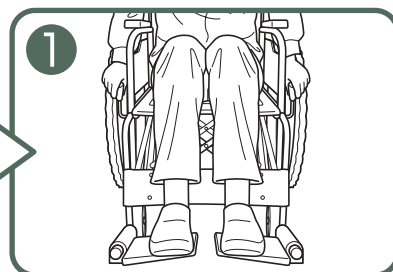


④フットサポートに足を乗せる。

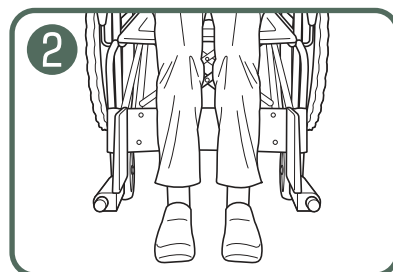


降りる時

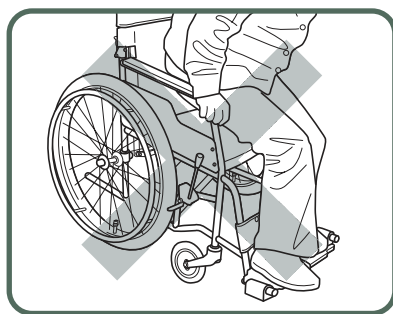
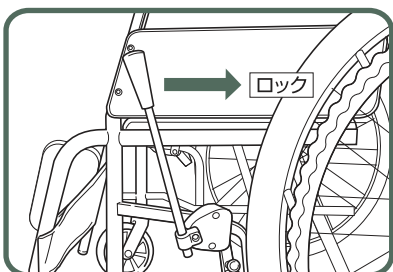
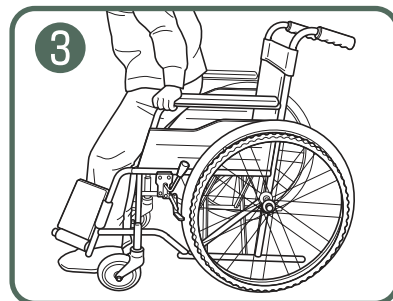
①ブレーキを両側ロックする。



②フットサポートを上げ、足を下ろす。



③両手でアームサポートを持ち
ゆっくり立ち上がる。



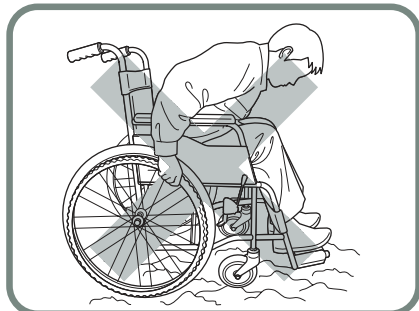
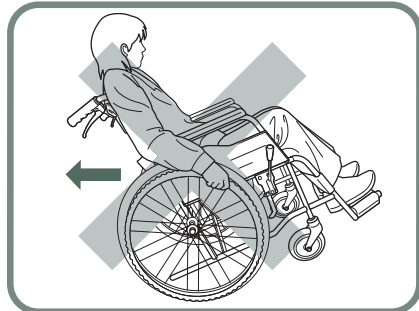
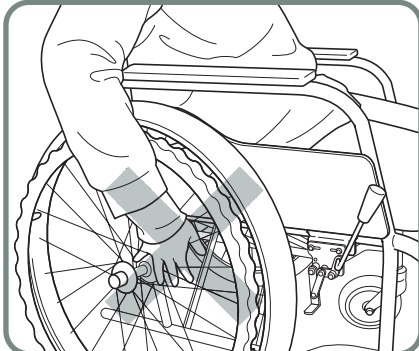
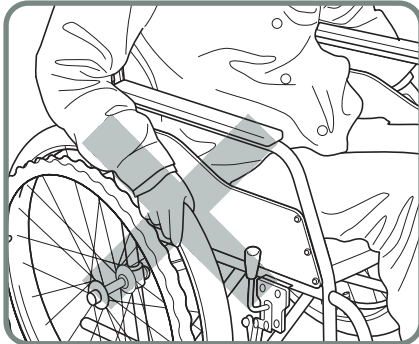
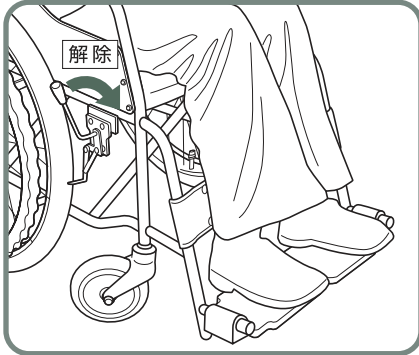
警告

●フットサポートの上に乗って、乗り込んだり、
降りるとき上に立ち上がらないでください。
(車いすがバランスを崩し、転倒事故の原因と
なります。)

してはいけない

動かし方 (自走用車いすの場合)

ブレーキロックを解除する。



ハンドリムを握り車輪を回転させ移動させる。

⚠ 注意

- タイヤを持って車いすを操作しないでください。
(ブレーキに手があたり、ケガをする原因となります。)
- スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。
(摩擦で、手にケガをする恐れがあります。そのようなご使用をされる場合は、車いす用手袋〈オプション〉をご使用ください。)
- 走行中、身体を乗り出さないでください。
(バランスが不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。)

してはいけない

⚠ 注意

- 車輪が回転しているときは、スポークに手や指を差し込まないでください。
(手や指をはさんで、ケガをする原因となります。)

してはいけない

※このような場合にはオプションのスポークカバーの使用をおすすめします。

⚠ 注意

- バックしながら急停止しないでください。
(転倒事故の原因となります。)

してはいけない

⚠ 注意

- 凹凸のある路面では、前かがみ姿勢で使用しないでください。
(バランスを崩し、前に転倒して事故の原因となります。)

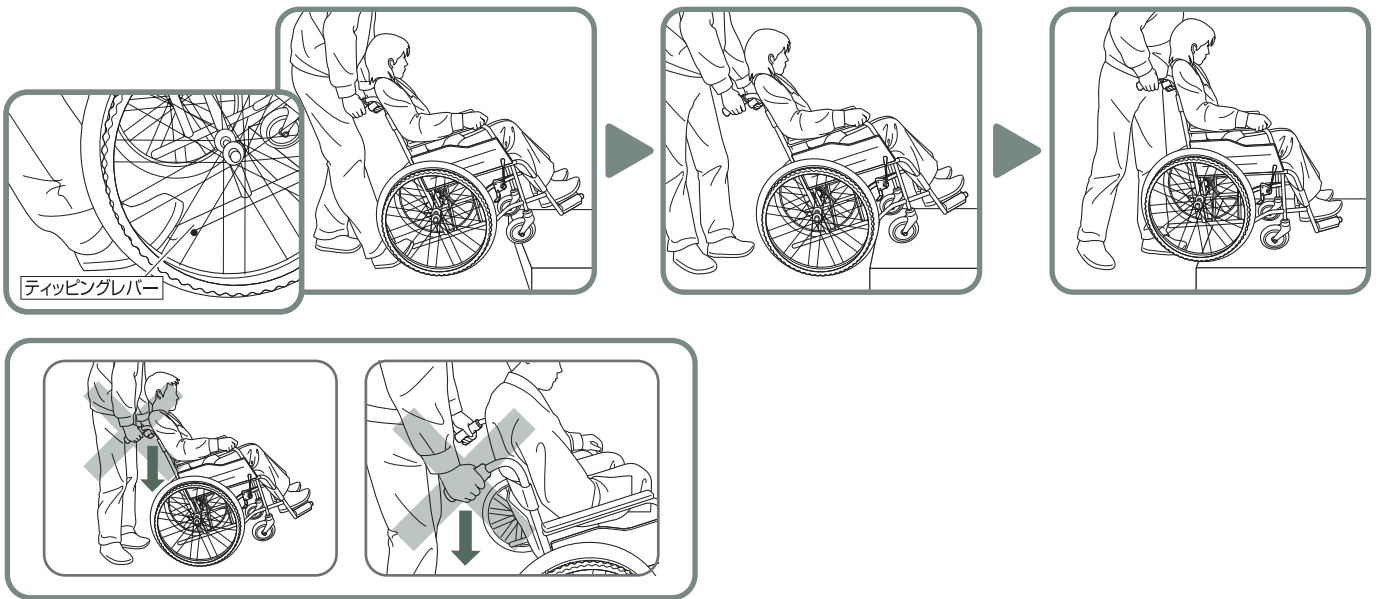
してはいけない

介助の仕方

次のような使用場所や環境では、危険が伴う場合がありますので、必ず介助者が付き添ってください。

- ・坂道の登り下り
- ・踏切の横断
- ・側溝の格子蓋の横断
- ・悪路
- ・凸凹道
- ・電車への乗車、下車
- ・段差乗り越え
- ・路面が片側に傾斜しているところの走行

段差を乗り越える場合は、ティッピングレバーを踏んでキャスト（前輪）を上げ段差に乗せてから後輪を浮かし乗り越えてください。



⚠ 注意

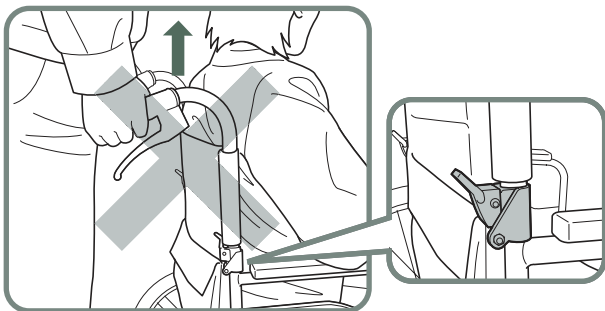
- バックサポートパイプのみで、キャスト（前輪）を上げないでください。
（バックサポートパイプが曲がったり、折れたりして、転倒して事故の原因となります。）

してはいけない

⚠ 注意

- スピードをつけて、段差を乗り越えようとししないでください。
（使用者が車いすから、転落して事故の原因となります。）

してはいけない

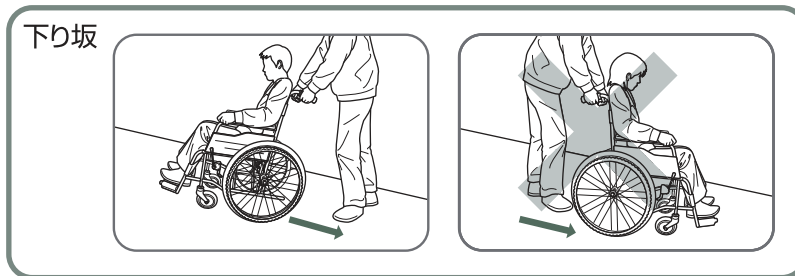


⚠ 注意

- バックサポートが折りたたみの場合は、使用者が車いすに乗っている状態でグリップを持って吊り上げないでください。
（パイプが外れたりして、転倒・転落事故の原因となります。）

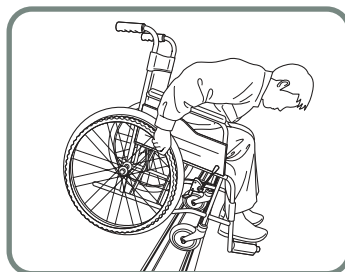
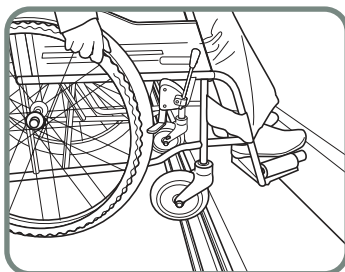
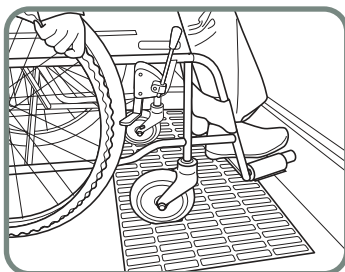
してはいけない

スロープの登り下りでご使用される場合は、必ず介助者に支えていただいでください。



⚠ 注意 ●スロープを下るとき介助者は車いすを後ろ向きにし、ゆっくり確認しながら走行してください。
(前向きで下ると、乗っている人がすり落ちたり、前のめりとなり、転倒事故の原因となります。)

していただく



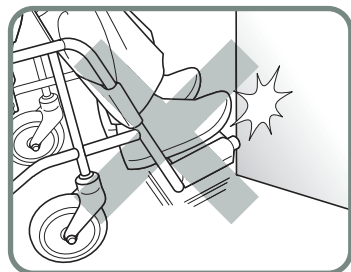
⚠ 警告 ●側溝の格子蓋や踏み切りなどでご使用される場合は、必ず介助者に支えていただいでください。
(車輪が溝にはまって、転倒・転落事故の原因となります。)

していただく

⚠ 注意 ●側溝の格子蓋、踏み切りのレール溝にキャストが落ち込まないように注意してください。
(車いすが急に止まり使用者の体が前方に傾き、転落・転倒事故の原因となります。このような環境条件でご使用される場合は、ワイドキャスト(オプション)をご使用ください。)

していただく

【介助者の方へ】



⚠ 注意 ●移動中、つま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。

していただく

⚠ 注意 ●フットサポートに、足が乗っているか確認して走行してください。

していただく

■階段など、使用者が乗ったままの状態、介助者に吊り上げてもらう場合



ベースパイプ・バックサポートパイプの固定されている箇所を持って、4~5人で支えてもらってください。

注意

- 必ず固定されている場所を持ってください。操作レバー、ブレーキなど持たないでください。

していただく

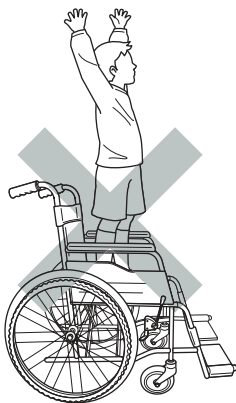
注意

- 車いすを持ち上げたときに座面の水平を保ち、乗っている人の転落には十分注意してください。

していただく

重量がある場合には、人と車いすを別々に移動してください。

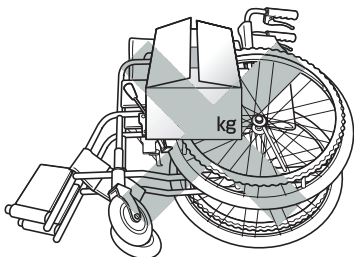
その他の注意事項



警告

- 車いすのシートの上で立ち上がらないでください。（転倒事故の原因となります。）

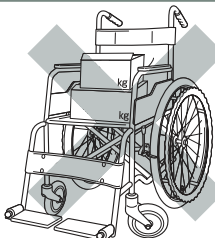
してはいけない



注意

- 車いすを、横向きに倒して上に物を置かないでください。（重みで車輪フレームが、曲がったりして故障の原因となります。）

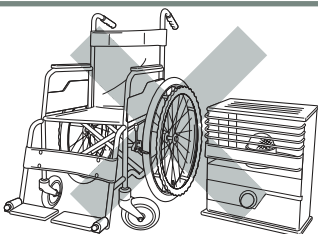
してはいけない



注意

- 車いすで荷物を運んだりしないでください。

してはいけない



注意

- 火気の近くに置かないでください。（タイヤがパンクしたり、シートが燃え火災の原因となります。）

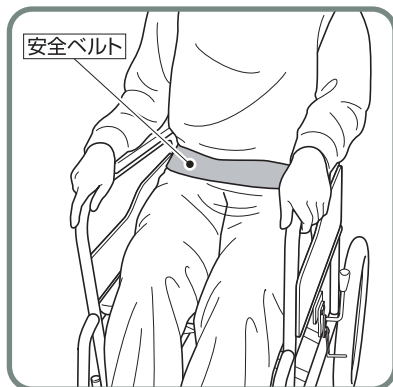
してはいけない

車いすのオプション

車いすをより使いやすくするために、いろいろなオプションが用意してあります。
(車いすにより取り付けできない場合がございます。販売店、または松永製作所までご相談ください。)

安全ベルト

●使用者が、車いすから転落したり、ずり落ちるのを保護します。



⚠ 注意

●安全ベルト装着機種は、必ずシートベルトを締めてください。
(衝撃などで転落し事故の原因となります。)

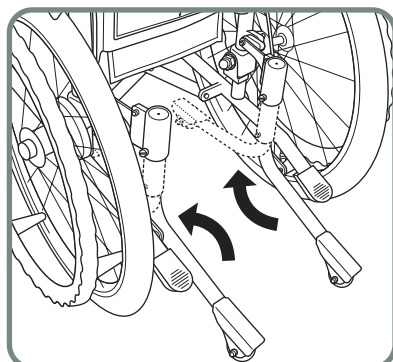
していただく

⚠ 注意

●マジック式安全ベルトは、糸くずや汚れを取り除いてご使用ください。
(粘着力が弱くなり、衝撃を受けた時外れ、転落事故の原因となります。)

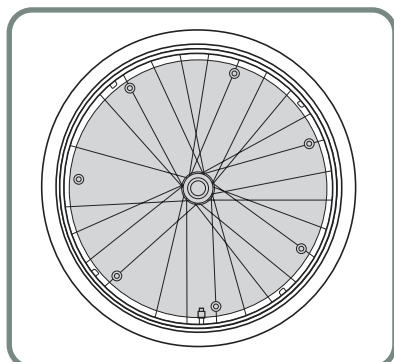
していただく

転倒防止



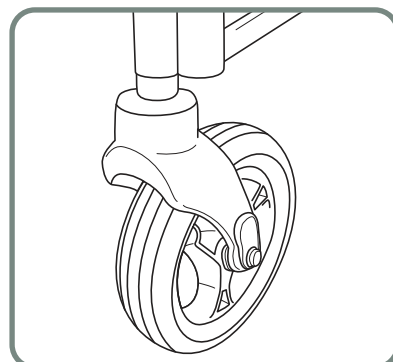
車いすが後方へ倒れるのを防止します。
収納することも可能です。

スポークカバー



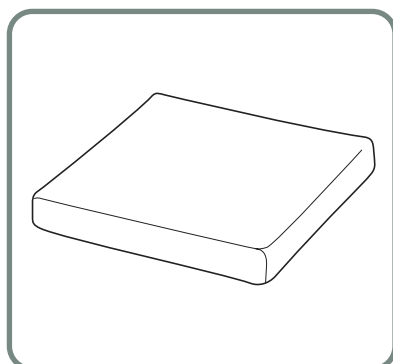
車輪(スポーク)に手を入れケガをする事を防止します。

ワイドキャスト



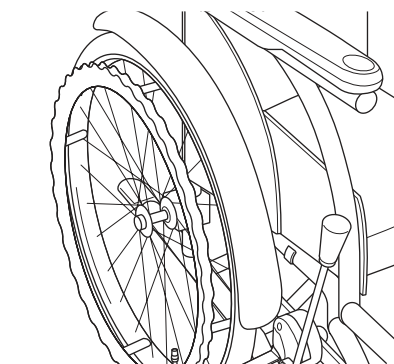
タイヤ幅を広くし、溝などへ落ちにくくします。

クッション



体重の圧力を分散し、快適に座ることができます。
(いろいろな種類があります。)

泥よけ



服の袖がタイヤに擦れて汚れることを防止します。

その他にも

- テーブル
 - ガートル架
 - 杖入れ
 - ポンベ架 など
- ご用意しております。

詳しくは、カタログをご覧ください。

※オプションの組合せにより同時装着不可、改造対応となる場合があります。

もしこんなトラブルが発生したときは

車いすをご使用されていて故障かなど、思うトラブルが発生したら、修理を依頼するまえに下記項目を確認してください。

トラブル	確認点	対処
タイヤの空気が少ない	・タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
空気を入れてもすぐに抜ける	・タイヤの空気入れ部のトップナットは、しっかり締まっていますか	しっかり締め直してください
	・虫ゴムが劣化していませんか	虫ゴムを交換してください
走行操作が重い	・タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
	・駆動輪・キャストに髪の毛、ビニール等が巻きついていませんか	取り除いてください
真っ直ぐ走らない	・キャスト(前輪)が片べりしていませんか	取扱店にご連絡してください
バックサポート折りたたみのロックピンが入らない	・車いすを払って、バックサポートを折りたたみしていませんか	車いすを折りたたんで、行ってください
キャリパーブレーキが効かない	・ワイヤーが、ねじれていませんか	ワイヤーのねじれを調整してください
	・ワイヤーの遊びが多くありませんか	取扱店にご連絡してください
ブレーキが効かない	・タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
	・タイヤは摩耗していませんか	取扱店にご連絡してください

車いすのお手入れの方法

■清掃は、水につけたタオルを強くしぼり、泥やホコリを拭き取った後に乾いた布で仕上げ拭きをしてください。

揮発性剤（シンナー・ベンジン・アルコール類）では、清掃しないでください。

変色したり、劣化の原因となります。

ホースなどで、直接水をかけないでください。車輪及びフレーム内部・ブレーキ部に水滴が残り、錆の原因となります。

■タイヤの空気圧、最適空気圧：760kPaを適正に保ってください。

空気圧が少ないときは、補充してください。

■タイヤには、ひび割れを防ぐ為に老化防止剤が配合されていますので、次のような環境及び薬剤はさけてください。タイヤの劣化を促進させ、ひび割れの発生原因となります。

- オゾン (O₃)
- 光線(日光)、熱・伸張等の機械的作用。
- 銅・マンガンのような金属の塩、石鹼などの容易に酸化される物質。
- シリコン系ワックス（自動車タイヤ用ツヤ出し剤、潤滑剤、錆落とし含む）。

■車いすに異常がある場合は、取扱店で、点検・修理をおこなってください。

その状態で使用されると、使用中に破損し、事故の原因となります。

- タイヤの劣化・ひび割れ・空気漏れ
- 各部固定部品の変形
- ボルト・ナット・ビスの緩み
- フレームのひび割れ・曲がり・ガタツキ
- 駆動輪・キャストの変形
- キャリパーブレーキ・ブレーキのきき具合

保管場所

次のようなところでは、保管しないでください。
故障の原因となります。

- 雨に濡れるようなところ
- 直射日光が当たるようなところ
- 湿気の多いところ
- 高温室になる場所
- 炎天下な場所

保証

- 保証期間は、お買上げ後1カ年です。(本体、付属品共)
ただし、次の場合は、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
 1. 火災、天災による故障・損傷の場合
 2. 取扱説明書に記載の使用方法、ご注意に反するお取扱いによって発生した故障の場合
 3. 無断仕様変更及び、改造による故障の場合
 4. タイヤの摩耗、パンク、シートのやぶれ、ブレーキ、キャリパーブレーキ用ワイヤー、ブレーキゴム等の消耗品、及び各部の劣化による故障、損傷の場合
 5. 修理に要した運賃等の諸経費
- この保証書は日本国内のみ有効です。

アフターサービス

万一故障の場合は、お買上げいただきました販売店、または松永製作所へ保証書ご持参の上、修理をお申しつけください。

車いす 点検シート

安全にご使用していただくために、ご自身・お買い求めの販売店(有料)で定期的に点検をしていただくようお願いいたします。

(長期間ご使用にならなかった場合は、ご使用前に点検をしてください)

点検の結果、異常があった場合はご使用にならず、調整・部品交換をしてからご使用ください。

点検項目		年月日				
		点検者				
キャスタ(前輪)	亀裂・キズの有無					
	キャスタの摩耗					
	スムーズな回転					
フォーク	損傷の有無					
	スムーズな旋回					
後輪	タイヤの空気圧					
	タイヤの摩耗					
	スムーズな回転					
	スポークの緩み					
フレーム	各部キズの有無					
	ボルト・ナットの緩み					
	スムーズな折畳み					
ブレーキ	ブレーキの効き					
シート	シートの破れ・損傷					
	シート固定ネジの緩み					
フットサポート	固定ボルトの緩み					
	プレートの破損					
アームサポート	固定ボルトの緩み					
	パッドの破損					
その他						



株式会社 松永製作所

〒503-1272 岐阜県養老郡養老町大場484

TEL0584-35-1180(代) FAX0584-35-1270

URL <http://www.matsunaga-w.co.jp>